

2015年6月1日

抗菌性能を向上させた抗菌ガラス「DL-7900」を開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、初期抗菌性や抗菌持続性を大幅に向上させた抗菌ガラスを開発し、サンプル提供を開始しました。6月3日から開催される「JPCA Show 2015（第45回国際電子回路産業展）」（於：東京ビッグサイト）に出展いたします。

浴槽や洗面所などの住宅設備や、人の手に触れることが多い雑貨品において、抗菌性能を重視した樹脂製品の需要が増加しています。当社では、これまで、一般的な銀系抗菌ガラスが持つ「樹脂と反応することで茶褐色に変色する」というデメリットを解消し、かつ、抗菌性能を高レベルで維持できる粉末状の抗菌ガラスを生産・販売してまいりましたが、この度、当社従来比で大幅に抗菌性能を向上させた新材料、「DL-7900」の開発に成功しました。

特長

・高い初期抗菌性、抗菌持続性

抗菌性能においては、銀イオンの溶出量が多く、高レベルで溶出が持続することが重要です。DL-7900は、ガラス組成の最適化により、銀イオンの溶出量が高レベルで持続します。抗菌性能が高いため、樹脂への添加量を低減できるメリットもあります。

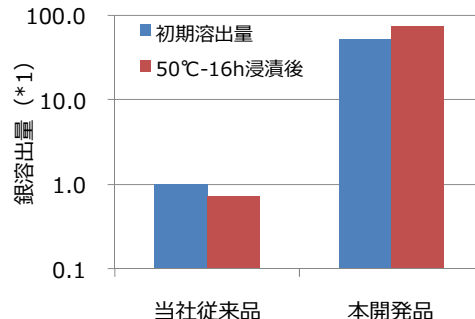


Fig. 純水への銀溶出量（50℃-16h 浸漬前後）

*1：当社従来品 初期溶出量を1とした時

・樹脂製品の変色を低減

一般的な銀系抗菌ガラスの場合、樹脂に添加し長期間使用すると、樹脂成分や光と反応し、樹脂表面が茶褐色に変色することがあります。白やアイボリー系の色が好まれる水回り製品でのこのような色の変化は、商品イメージが損なわれる恐れがあります。当社の抗菌ガラスは、銀のほかに亜鉛を含有させることで、こうした樹脂表面の変色を抑えています。

Table. PP樹脂の温水処理の変色（抗菌材料0.5%練込）

	本開発品	当社従来品	一般的な銀系抗菌材料
未処理			
60℃-48h 浸漬後			

製品形態

粉末、平均粒径 10 μm (標準品)
(これ以外のサイズについても対応可能です。)

量産販売時期

2015 年秋頃(予定)

快適な居住環境への要求は今後ますます高まると予想され、国内はもとより海外においても、水回り製品での抗菌材料の需要は高まるものと考えています。

当社では銀を含まない亜鉛抗菌ガラスも取り揃え、お客様のニーズに対応しています。今後は、幅広い製品ラインナップで、積極的に販売を展開してまいります。



(製品写真)

(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子(株) 総務部 広報担当

電話 : 077-537-1702

(製品に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子(株) 電子部品事業本部営業部(大津) 電話 : 077-537-8767

日本電気硝子(株) 電子部品事業本部営業部(東京) 電話 : 03-5460-2510